



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail: [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

令和6年1月

# うるわし通信

## 歴史と文化が薫るまち桜井へ

みなさまご清祥にて新年をお迎えのことと存じます。  
今年は世情内外ともに騒然たる中、先行きの見えな  
い不透明な時代にどう対処するか極めて重要な局面の  
年になりそうです。

急激にやってくる変化の波に翻弄されることなく確  
たる世界観のもとに構想を打ち立て、自信をもって沈  
着果敢に実行してゆく必要があると思います。このよ  
うな時にはまずは自らの持つ可能性を再確認し、フル  
に活用することから始めるのが一番です。

桜井について言えば、ここは日本の国の始まりの  
地、日本のアイデンティティの原点ともいべき場所  
です。考古学的発掘の成果が崇神・垂仁・景行3代の  
王権がここに誕生したという記紀万葉の神話の世界とシームレスに融合しつつあり世界的  
にも注目されています。古代王権発祥の地をそれにふさわしい姿に整備し、世界に発信してゆ

くことが即ち地域活性化の大きな力になります。具体的には  
オオヤマト古墳群や纏向から飛鳥藤原を経て平城京にいたる  
世界遺産群を国の施策として個別ばらばらではなく一体的に  
整備すれば発信力は格段に向上することでしょう。

神なびの郷、三輪山のほとりに住む市民や自治体もその意  
義を自覚して共に推進し、日本人が自信をもって自らの何た  
るかを世界に向かって語るにふさわしい姿に桜井がなってゆ  
く、その取り組みが始動する出発点に今年がなればと願って  
います。

一社) うるわしの桜井をつくる会理事長 堀井良殷



堀井良殷



## エルト桜井 リニューアルから5年 ひみっこぱーくは今、そして1階商業施設は？

新春を迎えるにあたり、地域社会の活性化が求められる桜井市内での「元気印」を紹介するため、今回ひみっこぱーくを訪れ、現状をうかがった。以前に「通信」では、第73号（令和元年5月）で「エルト桜井 リニューアルに期待する」と題して、桜井の玄関口としての駅周辺の活性化の基盤整備として、エルト桜井の大規模改修にともなうひみっこぱーくの開所、1階のスーパーの開店、そして駅北口の新しいホテルの新設という状況について紹介した。 編集子 楠木克弘



### 影響の大きかったコロナ禍による各種事業の休止・中断

ひみっこぱーくは、2019年5月11日にエルト桜井2階部分に、ポーネルド社の遊び遊具を取り入れた、新しい遊びの発見や親子や世代間のつながりづくりを目指す施設として、開設された。桜井はもとより周辺自治体からの利用者も多くあり、有料施設であるが人気を博しスタートを切った。しかし、翌年からコロナ感染が国内外に広がり、利用を休止（数か月）したり、対象者を桜井市民等に限定するなど、厳しい時期をむかえることとなった。

同様に、駅北口に同年12月にオープンした「ホテルルートイン桜井」も、コロナ禍の直撃を受け県の「コロナ感染者入所」施設として、今年5月の第2類に移行するまでは観光宿泊施設としてはその役割を担うことは出来ない状況となっていた。

### ひみっこぱーくの今

コロナの感染状況が一定減少した今日、利用者はコロナ前を大幅に超える状況になっているとのことであった。当初の年間利用者の想定は、約4万人であるが、今は年間約8万人に迫ろうとしている。また、市外利用者が非常に多い状況とのことである。

利用者拡大に向けては、来訪者の安全安心のために、予約制を導入して密集した状態での利用を避ける方法や、リピーターを増やすために利用回数によるポイント制度の導入や、イベント企画をPRしてマンネリにならない工夫をされている。

利用の傾向としては、利用時間はおおむね2時間利用が7割を占めており、土曜と日曜に利用者が集中するので、平日利用をどのようにしていくかが課題となっている。ポイント制については、1回利用で1ポイントとして、5ポイント獲得で500円引きを実施している。

## 1階の商業施設は、どうなるのか？

そもそもエルト桜井は、桜井駅周辺の活性化策として再開発事業として実施されたもので、当初近鉄百貨店 桜井店が入所していたが、撤退後これまで数度にわたるスーパーマーケット等の店舗が入居し、商業施設の新規開業に向けたモデル店舗の開設などがおこなわれた。しかしながら、事業を継続するには厳しい状況の下に撤退が繰り返されてきている。

現在、1階店舗の空き家問題については、民事裁判がおこなわれている状況で、今後どのように展開していくのかについては、認知していない。

ただ、2階の**ひみっこばーく**が子ども達（年少から小学6年生）と保護者を対象にした施設となっている中で、現在の1階部分があのように放置された状況では、子どもが集う施設の環境としては、相応しくないとわざるを得ない。一日も早い解決を願うものである。

## 抜本的な地域活性化策の探求が課題になる年

昨年は、統一自治体選挙で県議会議員選挙や市議会議員選挙、そして市長選挙も行われ、新しい陣容が定まった年であった。「新しい革袋に新しい酒」をどのように入れていくのが、市民にとっても課題となり2024年以降に問われることとなる。

例えば、子育て世代が桜井に住んで安心して子育てができる環境づくりが要望されている。保育所では長時間保育がおこなわれて、共働き世代でも仕事を終えて子どもの迎えるための時間の確保が一定されているが、小学校になって学童保育に通うようになったら、学童保育の終了時刻が早いために、通勤時間が1時間ほどかかる家庭の場合、仕事を続けることが困難となる事例が発生する。

桜井の歴史や景観のすばらしさに市内に住居を求めても、子育て世代に対しては、そのための支援策については、ファミリーサポート制度の個別対応の選択しか残されていない現実である。都市部からの移住を成功させている事例は、子育て世代への手厚い行政的支援策で魅力発信をしている自治体が多いのが特徴である。

桜井市内での「元気印」は様々な所で、地域の人々の努力で行われている。子ども食堂や、マルシェ活動、地域歴史学習等々を通じておこなわれている事柄を、「うるわしの桜井づくり」にむけ、さまざまな出会い・交流の機会づくりを自覚して「通信」づくりを進めたい。

地域活性化に如何に繋げていけるかの柱として先ず各現場で行われている取組みの交流の場づくりを提供すること、また、事業者や学識者との連携を通じて活性化への探求を進める活動が求められている。



ひみっこばーく



## 令和6年新春交流会

### ● うるわしの桜井を作る会 令和6年新春交流会

日時：令和6年1月21日(日)13:30～15:30 (開場13時)

場所：木材振興センター あるぼ～る

講師：子育て支援団体ほほえみ代表 蔵座かおりさん

演題：「子育てをもっと楽しくもっと楽に」

参加費：¥1,000(飲み物とケーキセット)

\*会員だけでなく、どなたでもご参加いただけます

ボランティア・NPO・手作り食品クラフト等のブース出展も歓迎しています

出展料はもちろん無料ですが政治・宗教・金融保険投資等は禁止です

名刺交換の場としてご利用ください。

問合せ：うるわしの桜井をつくる会事務局 ひがし

携帯電話 090-3652-8104 E\_mail jm3bsh@jarl.com



ほほえみ様HPより

## 磯田道史氏講演会

### ● うるわしの桜井を作る会 磯田道史氏講演会

日時：令和6年2月18日(日)14:00～16:00 (開場13:30)

場所：桜井市立図書館第1研修室

講師：磯田道史氏(国際日本文化研究センター教授)

演題：「考古学ファンとしてヤマトを語る」

参加費：¥1,000 先着300名

問合せ：うるわしの桜井をつくる会事務局 ひがし

携帯電話 090-3652-8104 E\_mail jm3bsh@jarl.com



## 編集後記



今年は「辰年」、時代を動かす「変革(転機)」や「激動」の年とも云われているそうです。本通信も100号の節目を迎え、桜井での新しい変革の取組を取材し、紹介できるように一層励みたいと思います。

念願の磯田道史氏の講演会を2月に実施することで準備を進めています。会員をはじめ多くの市民の方々の参加を呼び掛けると共に、従来の桜井の歴史や文化の見直しの契機になることを期待しています。

(編集子 K)

うるわし通信発行人  
ひがし俊克  
TEL:090-3652-8104